

オリコンサルグローバルらが設計・施工監理

オリエンタルコンサルタンツグローバル・Consulting Engineers & Architects^Jが詳細設計と施工監理を担当したスリランカの「全国国道橋架設・架け替えプロジェクトパッケージ1」（発注：スリランカ高等教育・道路省と道路開発庁）が完成した。11日に現地で開通式が行われ、菅沼健一駐スリランカ大使、国際協力機構（JICA）の田中総東スリランカ事務所所長ら来賓や工事の関係者らが出席し、プロジェクトの完成と開通を祝った。

スリランカの国道橋開通



開通したB01橋梁

このプロジェクトは、同国の主要国道37橋梁で新規架橋、架け替え、拡幅工事を順次進める事業。工区（パッケージ）を三つに分けて行われる。パッケージ1（南部の10橋）の施工者は

若築建設、パッケージ2（北部の8橋）の施工者は安藤ハザマ、パッケージ3（19橋）の施工者は未定。オリコンサルグローバル^Jは、パッケージ1～3の詳細設計から工事入札補助、施工監理までのコンサルティングサービスを一貫して担当する。総事業費は約161億円。全37橋の開通は19年を予定している。

パッケージ1の10橋のうち8橋が供用済みで、今回のB01橋とB02橋の完成で全線開通となった。B01橋は片側2車線のI桁プレストレス・コンクリート橋（橋長175m、幅員21・2m）、B02橋は片側2車線のボックスカルバート橋（橋長10・4m、幅員21・2m）。